

# 一村一エネ事業

2013 北海道エネルギーフロンティア事業



## ○事業計画の概要

**1. 事業計画数 5件 (5市町村、10団体)**

### 2. 環境

新エネルギーの導入により見込まれるエネルギー削減量  
**▲285 KI/年**  
**// 削減率 ▲69%**

### 3. コスト

**コスト削減見込み額 ▲19,900千円/年**  
**// 削減率 ▲54%**  
※減価償却費分及び事業外で生じるコスト改善効果は含まない。

### 4. 地域経済

地域経済の活性化 延べ21件  
 観光振興・交流推進 4件  
 環境エネルギー産業の育成 3件  
 農商工連携の強化 3件  
 その他(コミュニティビジネスの創出等) 11件

## 5. 事業の内容と効果

### ①農業分野における水熱を利用したヒートポンプの推進及び普及事業

(高断熱省エネハウスへの水利用ヒートポンプ導入による通年栽培及びエネルギー削減モデルの構築)

[ (株)アド・ワン・ファーム&豊浦町 ]

農作物の通年栽培を行うため、高断熱ハウスに低コストな水利用型ヒートポンプを導入し、化石燃料などの消費を抑制して二酸化炭素排出量を削減するとともに、リーフレタスなどの通年栽培を行うことにより、農業経営の安定化を目指し、豊浦町農業生産におけるエネルギー削減推進モデルの構築を図る。

[概算事業費35,679千円、交付金要望額 20,000千円]

★削減・導入：▲79KI/年(▲44%)  
 ★コスト：▲9,569千円/年(▲57%)  
 ★地域経済：農商工連携の強化、観光振興・交流推進、ものづくり・食産業の振興、産業・雇用の維持・創出につながる地域経済の課題解決  
 ★連携・協働：町・企業

### ②占冠村木質バイオマス推進モデル事業

(木質バイオマスボイラーによる村有森林資源の活用と自然エネルギーの普及啓発)

[ 占冠村&(株)スポーツピア&(有)長瀬産業&(株)高橋重機&NPO法人北海道新エネルギー普及協議会 ]

占冠村は豊富な森林資源を背景に、積極的に木質バイオマスの利活用を行うこととしていることから、村有温泉施設に木質バイオマスボイラーを導入し、村有林より発生する間伐材や林地未利用材を燃料化して化石燃料に替わるエネルギー源とすることにより、CO<sub>2</sub>及び燃料コストの削減を図るとともに、地域材の供給と活用、地域人材の雇用を図る。

[概算事業費 36,800千円、交付金要望額 20,000千円]

★削減・導入：▲60KI/年、(▲100%)  
 ★コスト：▲3,346千円/年、(▲67%)  
 ★地域経済：環境エネルギー産業の育成、農商工連携の強化、観光振興・交流の推進、コミュニティビジネス創出、産業・雇用の維持・創出につながる地域経済の課題解決  
 ★連携・協働：村・企業・NPO法人

### ③さっぽろサステナブル・BDF発電事業

(BDF発電機の持続的な活用によるエネルギーの削減及び廃食油の回収促進)

[ (有)どりーむ&北海道バイオディーゼル研究会&(一社)札幌観光協会&札幌市 ]

市民が集うイベントのイルミネーションなどの電力源としてBDF発電を行い、イベントがない時期には工場で稼働させる、"さっぽろサステナブル・BDF"モデルの構築を図る。また、札幌市内の公共施設を中心に新たに家庭由来廃食油の回収BOXを設置し、普及啓発事業を実施することにより、回収への理解と回収量の増加を目指すとともに、雇用機会の創出を図る。

[概算事業費 11,400千円、交付金要望額 8,250千円]

★削減・導入：▲31KI/年、(▲100%)  
 ★コスト：▲572千円/年、(▲22%)  
 ★地域経済：環境エネルギー産業の育成、商店街の活性化、観光振興・交流の推進、コミュニティビジネス創出、産業・雇用の維持・創出につながる地域経済の課題解決等  
 ★連携・協働：企業・環境団体・一社・市

### ④新ひだか町省エネルギーで元気な町づくり推進事業

(低炭素化や化石燃料使用の削減に向けた廃食油ボイラーの導入などによる環境にやさしい地域づくりの推進)

[ 新ひだか町&新ひだか町体育協会 ]

町内に設置の温水プールのボイラーの燃料の一部を重油から廃食油に切り替えることにより、化石燃料の消費を抑え二酸化炭素排出量を削減し、環境問題、自然との共存を考慮した地域、施設づくりを推進する。また、地域住民に廃食油回収やゴミ減量化などの意識啓発を行い、低炭素化の実現を図る。

[概算事業費 9,500千円、交付金要望額 9,500千円]

★削減・導入：▲47KI/年、(▲70%)  
 ★コスト：▲825千円/年、(▲14%)  
 ★地域経済：観光新興・交流促進、産業・雇用の維持・創出につながる地域経済の課題解決  
 ★連携・協働：町・協会

### ⑤鹿追町環境保全センターからの余剰熱を利用したマンゴー栽培事業

(バイオマス発電に伴う余剰熱のハウスへの有効活用と熱帯フルーツ栽培による地域産業の活性化)

[ 鹿追町農村青年会 & 鹿追町 ]

鹿追町は、農業が基幹産業であることから、通年での産業化を目指し、冬季にも出荷できる農産物や特産品を創出するため、バイオガスプラントの余剰熱等をハウスに有効活用し、付加価値の高いマンゴーを栽培して、端境期である冬季に出荷することにより、地域の産業振興を図る。

[概算事業費 50,274千円、交付金要望額 20,000千円]

★削減・導入：▲68KI/年、(▲87%)  
★コスト：▲5,588千円/年、(▲87%)  
★地域経済：環境エネルギー産業の育成、農商工連携の強化、ものづくり・食産業の振興、コミュニティビジネス創出、産業・雇用の維持・創出につながる地域経済の課題解決  
★連携・協働：農業団体・町

**概算事業費計 142,675千円 / 交付金要望額計 77,750千円**

※概算事業費・交付金額等は補助金交付事務における事業内容の精査等により、今後異動する場合があります。